



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 元裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 土屋 修 (TEL) 03-3820-1111
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,361	2.9	916	11.0	713	25.8	334	504.6
25年3月期第1四半期	13,961	9.5	825	0.3	567	△0.4	55	△71.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 854百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △64百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.15	—
25年3月期第1四半期	0.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	88,384	25,883	27.4	227.75
25年3月期	88,194	25,403	26.9	223.41

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 24,204百万円 25年3月期 23,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,200	3.7	1,950	1.9	1,400	5.1	700	169.4	6.59
通期	56,200	5.4	4,150	4.6	3,200	10.8	1,600	△47.0	15.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	113,441,816株	25年3月期	113,441,816株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	7,165,823株	25年3月期	7,162,899株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	106,276,529株	25年3月期1Q	106,286,179株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期の概況

当第1四半期の経営成績は、各部門において増収となり、売上高は143億61百万円（前年同期比2.9%増）となりました。営業利益は物流、食品部門において減益となりましたが、情報、不動産部門では増益となり、さらに金融・証券部門の廃止による赤字解消の要因もあり9億16百万円（同11.0%増）となりました。経常利益は受取配当金の増加や支払利息の減少等により7億13百万円（同25.8%増）となりました。四半期純利益は法人税等が増加したものの投資有価証券評価損や特別退職金等の特別損失の減少等により3億34百万円（同504.6%増）となりました。

②セグメント別の概況

<物流部門>

物流部門では、国内物流は全般的に荷動きが低調に推移し、貨物回転率は低下傾向となりました。売上高は、再保管料が増収となり、国際輸送や海外引越も増収となったことから、48億51百万円（前年同期比1.9%増）となりましたが、営業利益は低調な荷動きを反映して6億81百万円（同6.3%減）となりました。

<食品部門>

食品部門では、量販・外食向けである精米販売は20千玄米トン（前年同期比4.8%増）と増加しましたが、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は7千玄米トン（同19.5%減）と減少し、総販売数量は27千玄米トン（同3.0%減）となりました。売上高は精米販売の増加と販売単価の上昇により83億10百万円（前年同期比3.1%増）となりましたが、営業利益は仕入価格の上昇による販売差益の減少や支払運賃の増加等の要因から44百万円（同56.9%減）となりました。

<情報部門>

情報部門では、開発案件の増加等により、売上高は3億18百万円（前年同期比19.4%増）となり、営業損益は24百万円の損失（前年同期は49百万円の損失）となりました。

情報部門では棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務及び棚卸代行業務を主力事業と位置付けておりますが、当該業務には季節変動要因があるため、第2、第4四半期に売上・利益とも増加する傾向にあります。

<不動産部門>

不動産部門では、引続き厳しい状況にはあるものの、「ヤマタネビル新館」の稼働が寄与し、売上高は8億81百万円（前年同期比11.9%増）となり、営業利益は3億71百万円（同12.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

資産合計は、現金及び預金や投資その他の資産が増加しましたが、たな卸資産や有形固定資産が減少したこと等から、前連結会計年度末比1億90百万円増加し、883億84百万円となりました。

②負債

負債合計は、短期借入金が増加しましたが、営業未払金が減少したこと等から、前連結会計年度末比2億89百万円減少し、625億1百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が増加したこと等から、前連結会計年度末比4億80百万円増加し、258億83百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期におきましては、平成25年産米の動向が食品部門の収益に影響を及ぼす可能性があります。全体としては当初計画どおりに推移しておりますので、平成25年5月15日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,556	2,261
受取手形及び売掛金	6,197	6,405
たな卸資産	2,523	1,882
その他	1,321	1,134
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	11,595	11,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,034	14,763
土地	46,296	46,277
その他(純額)	6,539	6,513
有形固定資産合計	67,870	67,555
無形固定資産	1,622	1,564
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,868	7,331
貸倒引当金	△88	△49
投資その他の資産合計	6,779	7,281
固定資産合計	76,272	76,400
繰延資産	326	302
資産合計	88,194	88,384
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,923	2,164
短期借入金	6,086	6,530
1年内返済予定の長期借入金	1,954	1,898
1年内償還予定の社債	6,353	6,353
その他	2,178	2,515
流動負債合計	19,496	19,462
固定負債		
社債	15,850	15,850
長期借入金	14,476	14,372
退職給付引当金	1,679	1,694
役員退職慰労引当金	126	44
環境対策引当金	119	112
その他	11,041	10,963
固定負債合計	43,294	43,038
負債合計	62,790	62,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,775	3,775
利益剰余金	8,215	8,236
自己株式	△1,811	△1,811
株主資本合計	20,735	20,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,149	1,594
土地再評価差額金	1,858	1,854
その他の包括利益累計額合計	3,008	3,449
少数株主持分	1,659	1,678
純資産合計	25,403	25,883
負債純資産合計	88,194	88,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	13,961	14,361
営業原価	12,209	12,694
営業総利益	1,752	1,667
販売費及び一般管理費	927	751
営業利益	825	916
営業外収益		
受取配当金	46	57
その他	6	11
営業外収益合計	53	69
営業外費用		
支払利息	274	244
その他	36	27
営業外費用合計	310	271
経常利益	567	713
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
固定資産売却益	0	3
その他	—	0
特別利益合計	1	4
特別損失		
投資有価証券評価損	40	—
特別退職金	41	—
その他	16	0
特別損失合計	97	0
税金等調整前四半期純利益	470	718
法人税等	269	316
少数株主損益調整前四半期純利益	201	401
少数株主利益	146	67
四半期純利益	55	334

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201	401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	452
その他の包括利益合計	△266	452
四半期包括利益	△64	854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196	780
少数株主に係る四半期包括利益	132	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高								
外部顧客への 売上高	4,762	8,057	266	787	88	13,961	—	13,961
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	—	55	4	—	205	△205	—
計	4,906	8,057	322	791	88	14,167	△205	13,961
セグメント利益 又は損失(△)	727	103	△49	331	△41	1,071	△245	825

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△148百万円、のれん償却額△101百万円及び未実現利益調整額3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	4,851	8,310	318	881	14,361	—	14,361
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	159	—	57	6	224	△224	—
計	5,011	8,310	376	887	14,586	△224	14,361
セグメント利益 又は損失(△)	681	44	△24	371	1,073	△156	916

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△126百万円、のれん償却額△33百万円及び未実現利益調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメント「金融・証券関連」を廃止しております。

これは、金融・証券関連の事業を営んでおりました金山株式会社を前連結会計年度において清算し、同事業から撤退したことによるものであります。

これにより、当第1四半期連結会計期間より「物流関連」、「食品関連」、「情報関連」、「不動産関連」の4つを報告セグメントとしております。